




福井県の
県政ビジョンと財政運営

令和８年１０月

もくじ

1　福井県の概要

（1）福井県のすがた　3
（2）福井県の主な観光地　4
（3）北陸新幹線（金沢・敦賀間）令和６年３月16日開業　5
（4）北陸新幹線　県内開業の効果　6
（5）福井県の美食　8
（6）「幸福度日本一」　9
（7）「ふく育県」の取り組み　10
（8）県内総生産の構成内訳　11
（9）「実は福井」の技　12

2　福井県の重要課題

（1）北陸新幹線敦賀以西（小浜・京都ルート）の整備促進　14
（2）高速道路の整備　15

3　福井県の財政運営

（1）令和８年度福井県6月現計予算（一般会計）歳入　17
（2）福井県普通会計歳出決算の推移　18
（3）福井県普通会計歳入決算の推移　19
（4）原子力発電関連税収等の推移　20
（5）原子力発電に関する福井県の現状　21
（6）財政健全化法における財政指標　22
（7）地方債残高の状況　23
（8）減債基金・財政調整基金等の状況　24
（9）企業会計の状況　25

4　地方公会計に基づく財務諸表の状況

（1）統一的な基準による地方公会計（一般会計等決算）　27
（2）貸借対照表（一般会計等）　28

5　行財政改革の実施

（1）行財政改革アクションプラン2024　30
（2）行財政改革アクションプラン2024における健全財政の堅持　31

6　福井県の目指す姿

（1）新たな政策方針　33
（2）令和８年度重点施策　35

7　福井県とSDGsの関わり

（1）福井県のSDGsの取組み　38

8　福井県債のご紹介

（1）市場公募債の発行状況　41
（2）令和８年度の市場公募債発行予定　42
（3）福井県グリーンボンド発行概要　43
（4）福井県グリーンボンド充当予定事業　45
（5）令和７年度グリーンボンドの資金充当状況・環境改善効果　46

福井県債に関するお問い合わせ先　47

1　福井県の概要

（1）福井県のすがた

- 福井県は日本海国土軸の中心に位置し、都につづく大陸文化の玄関口として、時代を通して人・モノの重要な結節点となってきました

福井県の概要

東京から

- JR/北陸新幹線で約２時間50分
- 羽田→小松空港経由バス利用で約２時間
- 高速自動車国道で約５時間30分

大阪から

- JR特急/北陸新幹線で約１時間50分
- 高速自動車国道で約２時間40分



面積	4,190,56㎢	**全国35位**
人口	728,588人	**全国43位**
世帯数	294,638世帯	**全国45位**
就業者数	415,138人	**全国43位**
県内総生産（名目）	3兆4,943億円	**全国42位**
１人あたり県民所得	310万円	**全国23位**



古代より「御食国」として、若狭の美物（うましもの）を都に運び、京の食文化を支えた
（画像：鯖街道 熊川宿）



平安時代、大国に分類される越前国の国司に赴任する父・藤原為時に同行し、紫式部が約１年滞在



江戸から明治にかけて、財や文化を運ぶ北前船が寄港
（三国・南越前・敦賀・小浜）

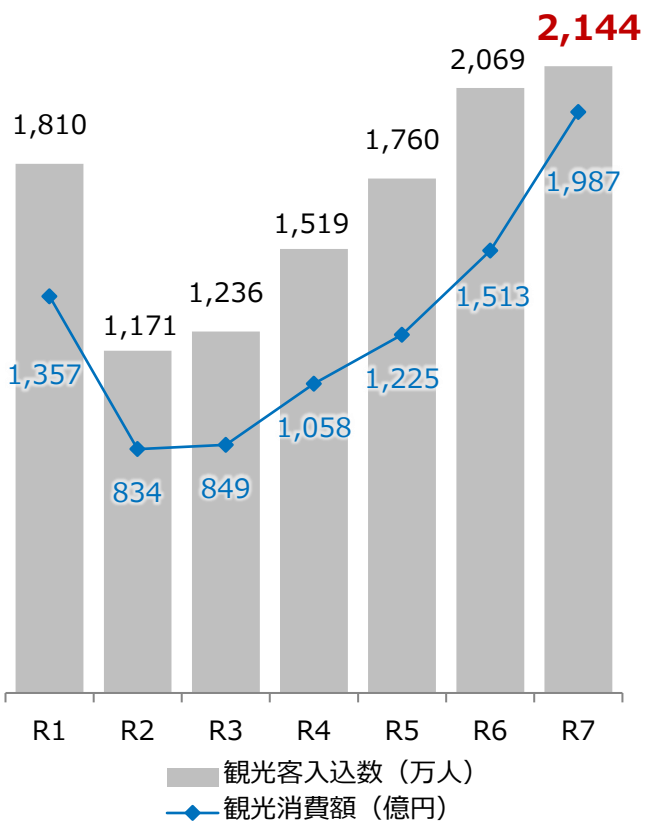


明治の終わりから昭和の初め、欧亜国際連絡列車が敦賀港を発着

（2）福井県の主な観光地

- 豊かな緑と水に恵まれた山々と、雄大な日本海に囲まれた福井県。自然と歴史が織りなす、みどころ満載の観光地が多数あります

観光客入込数と観光消費額の推移



出典：令和７年福井県観光客入込数（推計）

県内の主要な観光地



東尋坊



福井県立恐竜博物館



水島



越前大野城



県立年縞博物館 水月湖



一乗谷朝倉氏遺跡・県立遺跡博物館

（3）北陸新幹線（金沢・敦賀間）令和６年３月16日開業

- 北陸新幹線（金沢・敦賀間）が開業。東京－福井間が直結し、最短時間２時間49分に





北陸新幹線（金沢・敦賀間）開業　敦賀駅出発式

		発	着
東京発 ↓ **福井行**	始発電車	6:16	9:12
	最終電車	20:00	22:55
福井発 ↓ **東京行**	始発電車	6:33	9:32
	最終電車	20:33	23:32

※R8.3.14改正ダイヤを基に県作成

（4）北陸新幹線　県内開業の効果

- 全国、特に関西圏・信越から来訪者が大幅に増加し、好調を維持しています
- 県内全域の主要観光地の入込みも好調に推移しています

福井県内新幹線駅周辺の県外来訪者比較（県推計値）※越前たけふ駅除く

地域	開業２年目の状況 R７年３月16日～R８年3月15日 R５年３月16日～R６年3月15日 来訪者数	単位：万人 開業前同期	増減数	開業前比
関東圏	97.8	93.8	4.0	104.3%
関西圏	241.0	217.0	24.0	111.0%
中京圏	72.2	72.3	△0.1	99.8%
北陸	185.1	148.5	36.6	124.6%
信越	21.2	12.9	8.3	164.0%
その他	60.2	48.7	11.5	123.6%
合計	677.5	593.3	84.2	114.2%

データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」

※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計を行った
※表の縦横の合計値は、四捨五入の関係で合わない場合がある
※来訪者数は、いずれもKDDIが保有するビッグデータを用いて算出した県推計値で、前年との比較が可能な芦原温泉駅周辺、福井駅周辺、敦賀駅周辺の合計値かつ延べ人数（来訪者数は、福井県民および訪日外国人を除く）
関東圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県
関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県
中京圏：愛知県、岐阜県、三重県
北陸：石川県、富山県（福井県を除く）
信越：新潟県、長野県



敦賀駅（GW）コンコースの様子



くるふ福井駅（GW）の様子

恐竜博物館	年縞博物館	一乗谷朝倉氏遺跡博物館	敦賀赤レンガ倉庫	永平寺
				
137%	128%	112%	119%	118%

※〔比較対象期間〕・恐竜博物館：Ｒ７年度とＨ３０年度との比較
・年縞博物館、一乗谷朝倉氏遺跡博物館、敦賀赤レンガ倉庫、永平寺：R7年4月1日～R8年２月28日とR５年4月1日～R６年２月29日

（4）北陸新幹線　県内開業の効果

■ 新幹線駅周辺への投資が拡大、地価が上昇

・駅周辺での**再開発や大規模投資**が今後も継続

・**まちづくりファンド**等により**店舗開設など民間投資が拡大**

▶ 福井駅周辺125件、敦賀駅周辺94件（R８年３月末時点）

・開業と再開発の進展により駅周辺の商業地の路線価が上昇

▶ 福井駅西口広場通り　**前年比2.5%上昇**（R８年分路線価）

▶ 敦賀駅前広場通り　**前年比4.3%上昇**（R８年分路線価）



氣比神宮エリアの飲食店整備例

■ 宿泊施設の整備やリノベーションが加速

・令和２年度以降、**138軒の宿泊施設**のリニューアル等を支援
（R8年３月末時点）

▶ 嶺北60軒、嶺南70軒

・上質な宿の開業等を支援

▶ 嶺北4軒、嶺南4軒



オーベルジュ
（歓宿縁 ESHIKOTO）

■ 新たな地域交流拠点の創出

・開業後のさらなる交流人口の拡大、地域経済の持続的発展のため、民間主導による**アリーナ整備**を予定
（整備予定地　JR福井駅から徒歩８分の福井市東公園内）



福井アリーナ（仮称）整備イメージ

（5）福井県の美食

- 福井県は、冬の味覚の王様「越前がに」をはじめとした海の幸や、豊かな自然が育む山の幸・里の幸など食材の宝庫です

福井の美味には理由がある。

美食福井

FUKUI GASTRONOMY

越前がに



福井県の漁港に水揚げされるズワイガニ。
甘くひきしまった肉質で、ズワイガニの中でもトップブランドの最高級品として知られています。

ふくい甘えび



大きさと鮮度にこだわった「ふくい甘えび」。鮮やかな赤い体ととろけるような甘みと食感が特徴です。
一口頬張れば口の中いっぱいに甘みが広がります。

さかほまれ地酒



福井県が生み出した新たな酒米「さかほまれ」と、福井県の研究所が生み出した酵母、福井の大地が育んだ清らかな水を使用した大吟醸酒です。
2020年に商品化しました。

福井梅



三方五湖周辺では、江戸時代より梅が栽培されています。梅干しのほか、梅酒、完熟梅ジャムなど、多くの魅力的な加工品に利用されています。

若狭ぐじ



古来より最高級食材として京の都に運ばれていました。
厳しい基準を満たした個体だけを「若狭ぐじ」として全国に出荷しています。

若狭牛



きめ細やかなサシの入った柔らかな肉質と甘みが評判の県産和牛です。
特に、オレイン酸が牛脂中に55%以上含まれる若狭牛を「三ツ星若狭牛」として認証しています。

そば



それぞれの地域で古くから受け継がれてきた「在来種」で打ったそば。そば本来の味と香りを楽しめます。

いちほまれ



コシヒカリを超える美味しさを持つ福井が誇るブランド米です。炊き上がりの白さとツヤ、粒感と粘りのバランスが最高の食感、口に広がる優しい甘さが特徴です。

（6）「幸福度日本一」

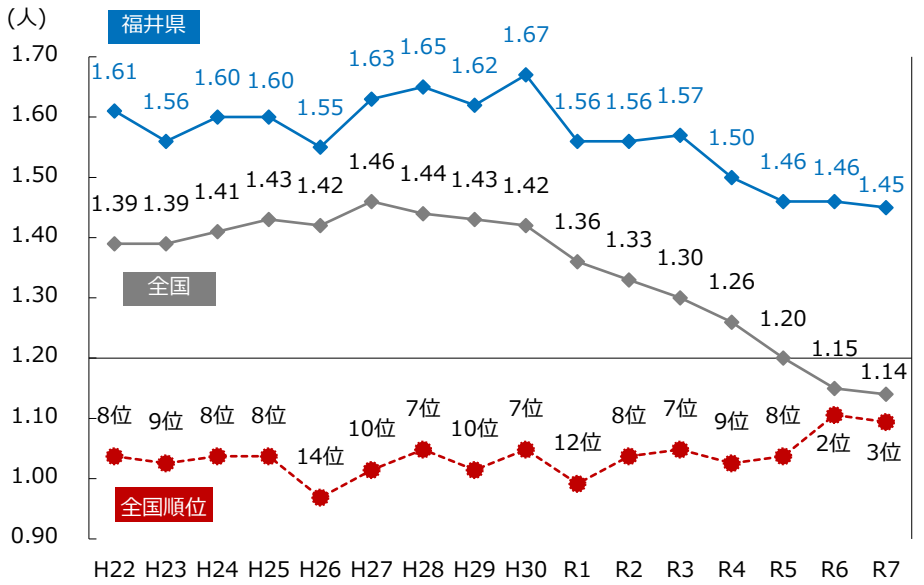
あらかじめ、幸せだったらいいな。 幸せ度いちばん福井県

- 「全47都道府県幸福度ランキング（日本総合研究所）」において**６回連続の総合１位**を獲得し、「幸せ実感」でも全国上位（デジタル庁ウェルビーイング調査　１位）（2014年版、2016年版、2018年版、2020年版、2022年版、2024年版）

（一財）日本総合研究所「全国47都道府県幸福度ランキング」分野別ランキング

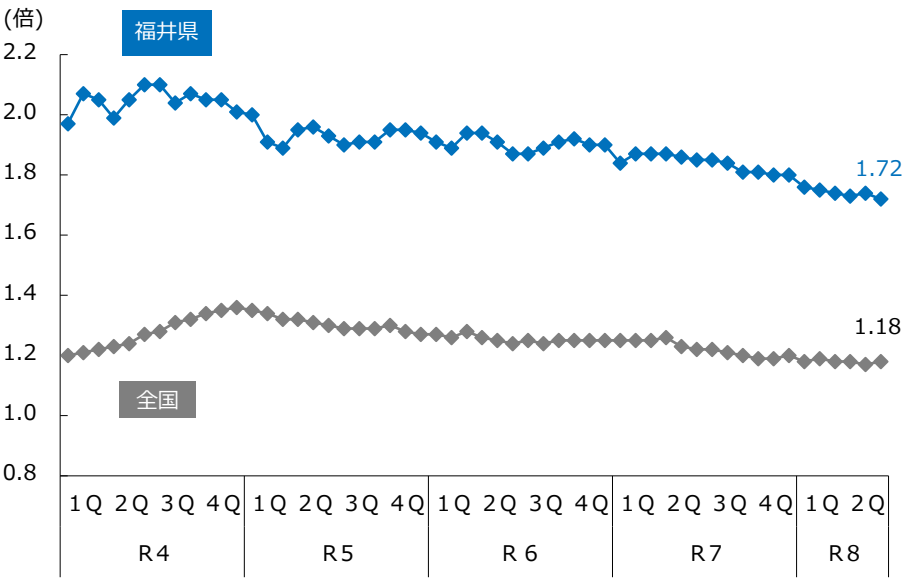
教育分野　１位		仕事分野　４位		生活分野　９位		健康分野　22位	
不登校児童生徒率（低い方から）	１位	大卒者進路未定者率（低い方から）	１位	待機児童率（低い方から）	１位	産科・産婦人科医師数	７位
社会教育費	２位	若者完全失業率（低い方から）	２位	一人暮らし高齢者率（低い方から）	２位	高齢者ボランティア活動比率	11位
学　力	２位	高齢者有業率	４位	生活保護受給率（低い方から）	４位	健康寿命	13位

合計特殊出生率の推移



出典：人口動態統計

有効求人倍率の推移



出典：福井労働局「雇用失業情勢」

(7) 「ふく育県」の取り組み

結婚

結婚生活への経済的不安
平均世帯所得
29歳以下　336.4万円
30～39歳　605.7万円

国の結婚生活支援金 **最大60万円**
引越費用・家賃・住宅取得費用 等
＋
県の上乗せ支援 **最大40万円**
使途制限なし

最大100万円に！

R7平均初婚年齢
男女ともに早婚傾向

	福井県	全　国
男性	30.6歳	31.0歳
女性	29.2歳	29.7歳

出産

出産を希望
高額な不妊治療費
約２万～100万円

１回あたりの
自己負担額 最大６万円

	R6	R7
第２子以降出生数	2,442 人	2,465 人（＋23人）
40-44歳出生数	240人	246 人（＋６人）

子育て

子育てへの経済的・心理的不安
０歳～22歳子育て費用
（教育費と養育費の合計）
約2,900万円（私立大学進学）

最大600万円の
男性育休促進企業奨励金、
第２子以降保育料無償化
こども医療費の無償化
高校授業料無償化　　等

	R6取得率	R7取得率
民間企業男性育休	44.9%	57.3% 過去最高

医療費助成　**県と市町で高校３年生まで無償化**　※１町を除く

R７
合計特殊出生率
1.45
（全国３位）



取組の改善・充実（Ｒ７～）

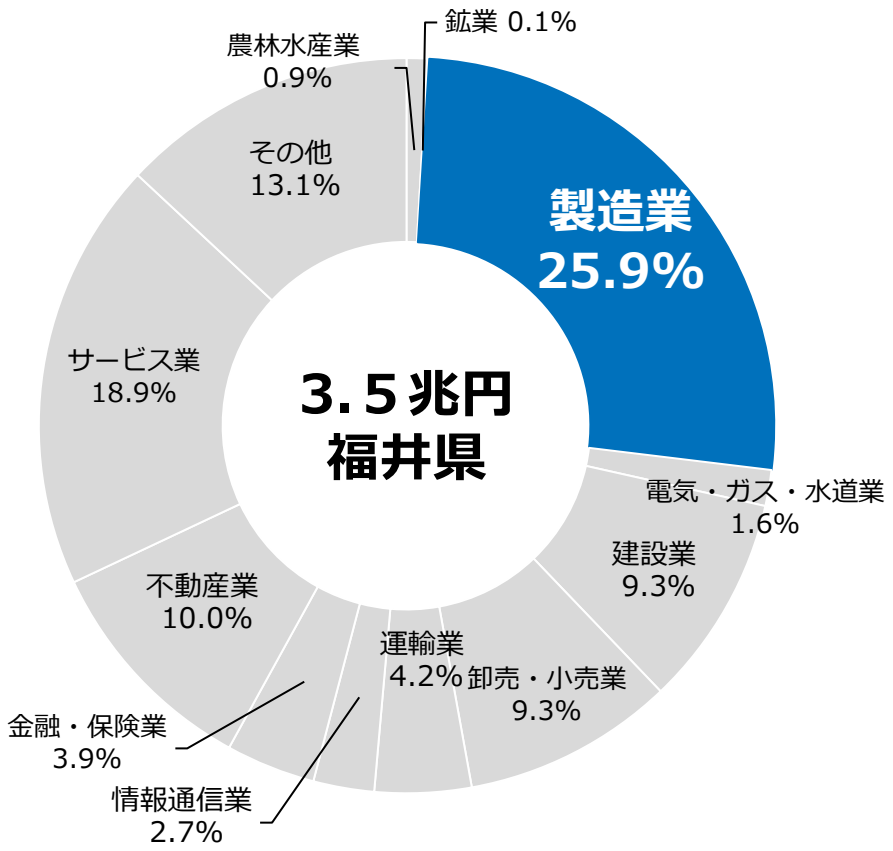
- 安心の子育て環境
  - ・訪問型シッターサービス　１時間500円から（ふく育さんなど）
- ひとり親家庭等への支援
  - ・「ふく育さん」「ふく育タクシー」の利用料48,000円／世帯を支援
- 子育てのワクワク実感
  - ・全天候型遊び場を全市町に拡大
  - ・福井県児童科学館の新たな魅力づくり


ふく育さん

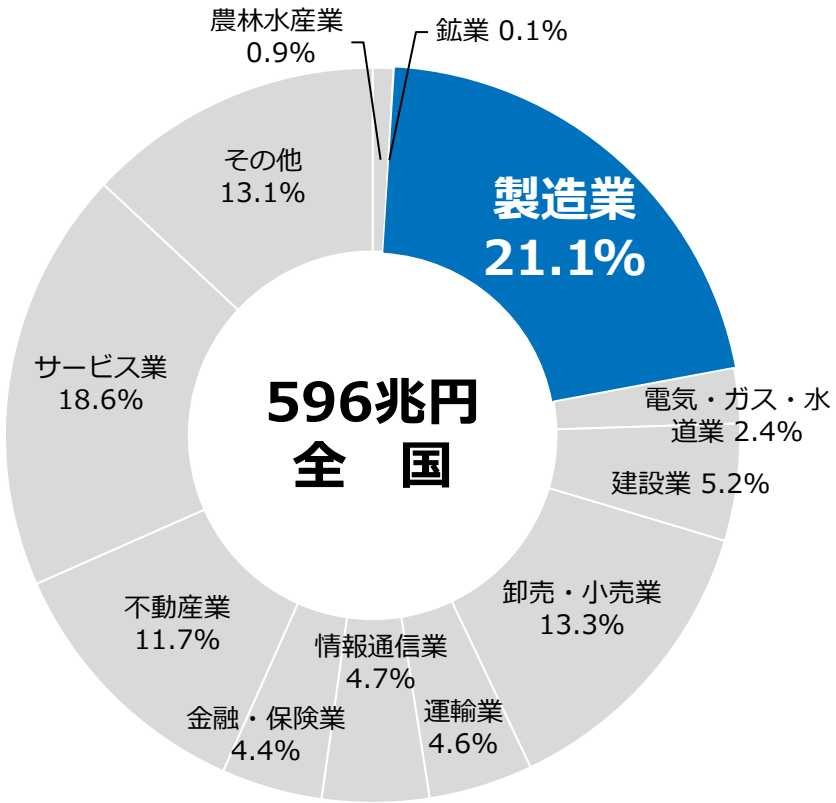
（8）県内総生産の構成内訳

- 県内総生産に占める製造業の割合は２割を超え、製造業を中心とした産業構成となっています

福井県の構成内訳（令和４年度）



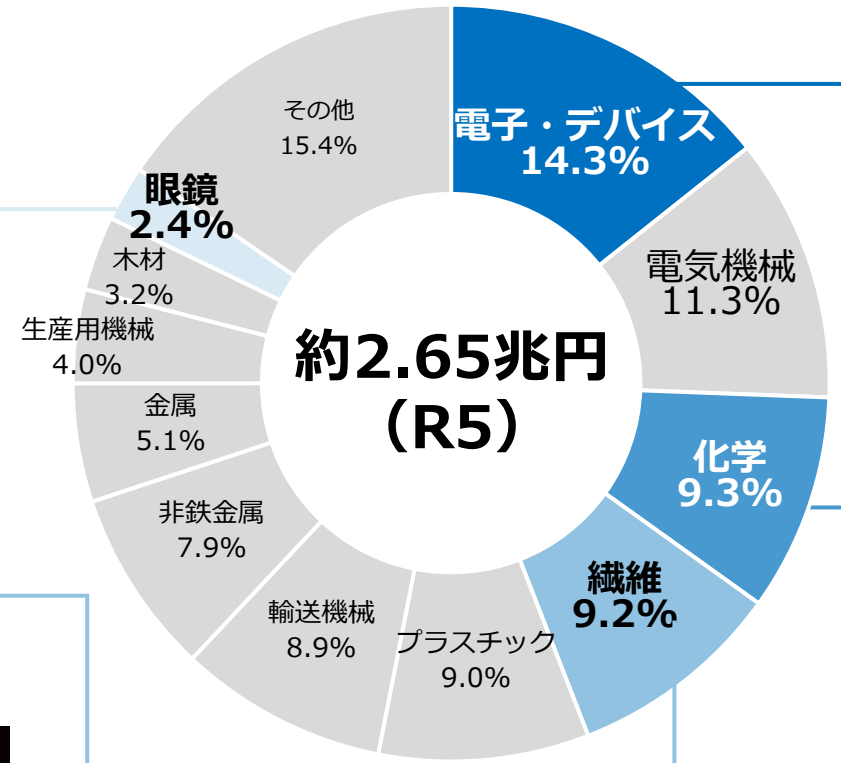
全国の構成内訳（令和４年度）



出典：内閣府「県民経済計算」

（9）「実は福井」の技

製造品出荷額（令和５年）

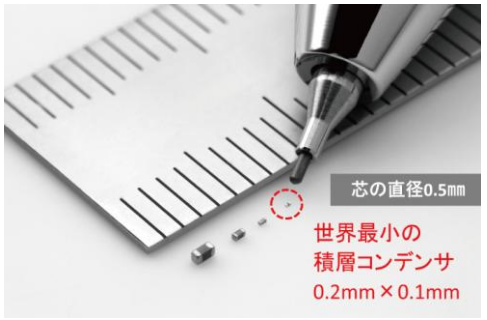


国内シェア1位　国内シェア 約93%



【眼鏡フレーム】

世界シェア1位　世界シェア 約40%



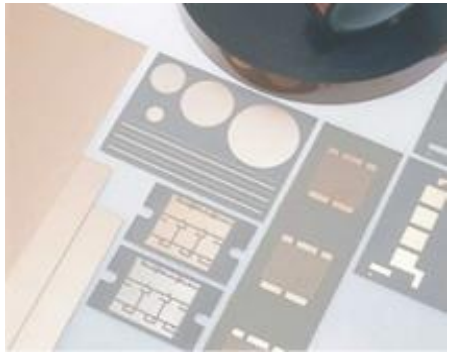
【積層セラミックコンデンサ】
㈱福井村田製作所

世界シェア1位　世界シェア 非公表



【自動車用内装材（カーシートなど）】
セーレン㈱

世界シェア1位　世界シェア 非公表



【高放熱絶縁材料】
日東シンコー㈱

出典：福井県の工業（令和６年（2024年）経済構造実態調査）

2　福井県の重要課題

（1）北陸新幹線敦賀以西（小浜・京都ルート）の整備促進 ～全線開業の意義～

- 北陸新幹線が大阪まで開業した場合、全国の交流人口は約1,910万人の増加を見込んでいます
- 南海トラフ地震等大規模災害時には、東京・大阪間を結ぶ東海道新幹線の代替機能を果たします

全国の交流人口の増加

▼

約 1,910万人／年

全国への経済波及効果

▼

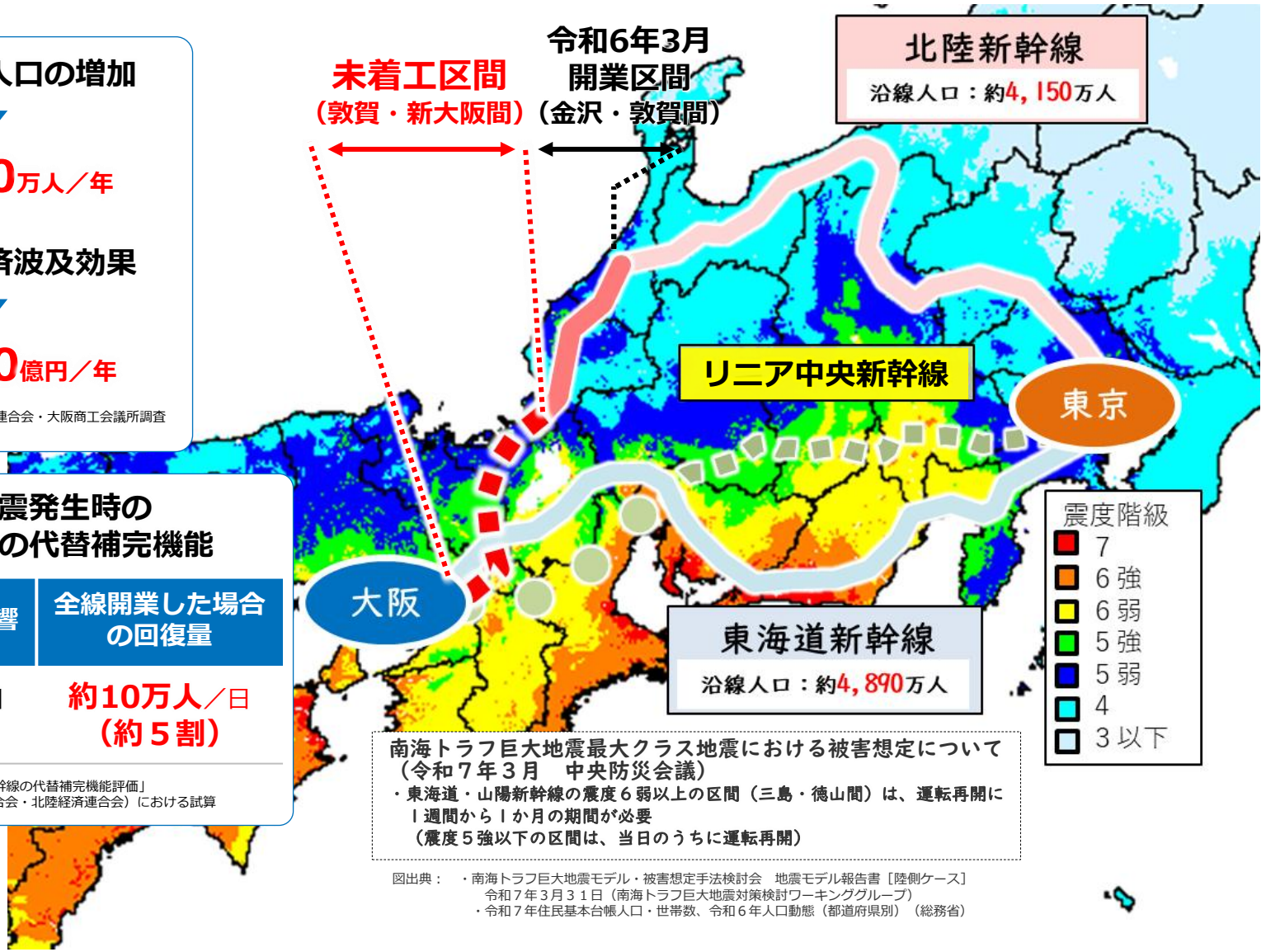
約 2,700億円／年

出典：関西経済連合会・北陸経済連合会・大阪商工会議所調査
（令和元年10月）

巨大地震発生時の
北陸新幹線の代替補完機能

鉄道移動への影響	全線開業した場合の回復量
約20万人／日	約10万人／日（約５割）

※「北陸新幹線による東海道新幹線の代替補完機能評価」
（平成23年8月　関西経済連合会・北陸経済連合会）における試算

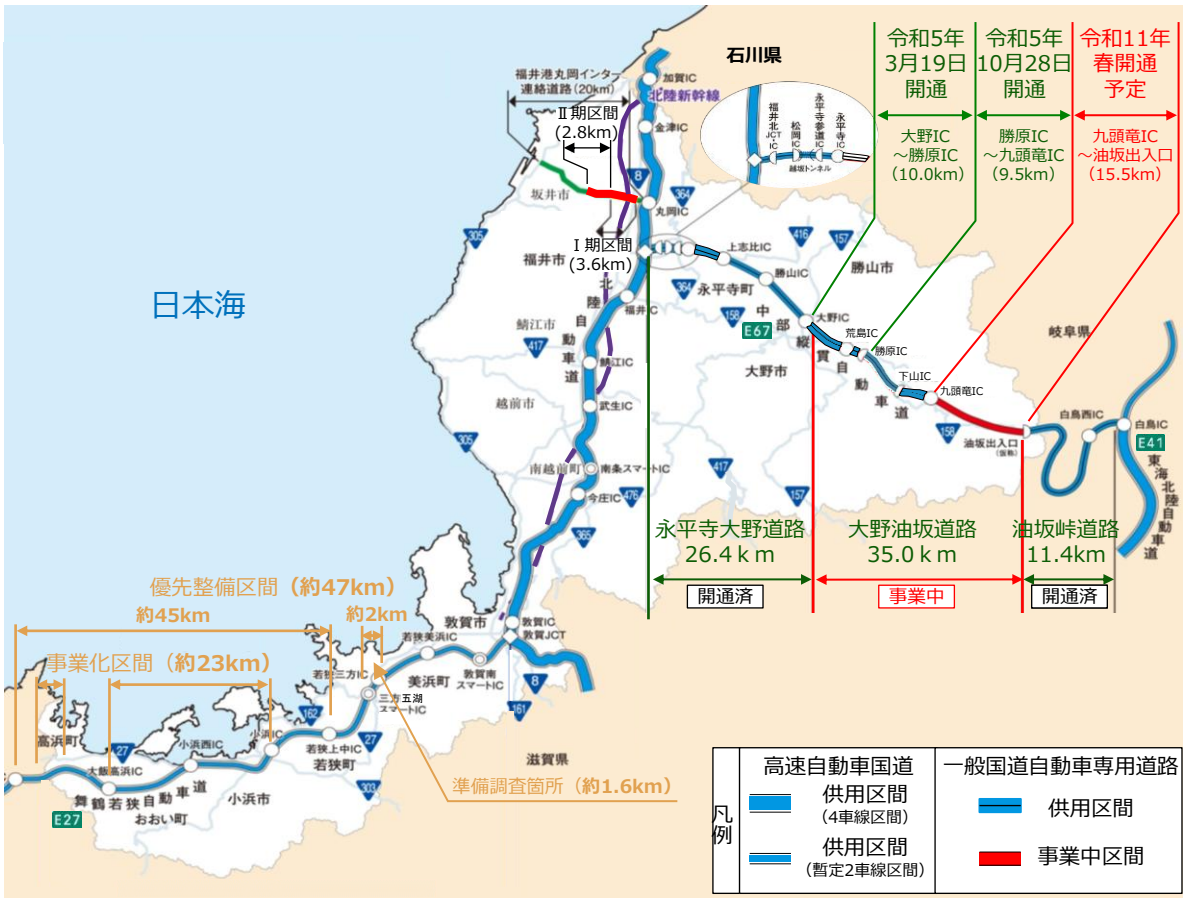


南海トラフ巨大地震最大クラス地震における被害想定について
（令和７年３月　中央防災会議）
・東海道・山陽新幹線の震度６弱以上の区間（三島・徳山間）は、運転再開に１週間から１か月の期間が必要
（震度５強以下の区間は、当日のうちに運転再開）

図出典：　・南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会　地震モデル報告書［陸側ケース］
令和７年３月３１日（南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ）
・令和７年住民基本台帳人口・世帯数、令和６年人口動態（都道府県別）（総務省）

（2）高速道路の整備　～中部縦貫自動車道の県内区間全線開通へ～

- 中部縦貫自動車道の県内区間全線開通に向けて、現在残り１区間の整備が進められています
  福井県の東の玄関口が拓かれ、トンネル区間が多く雪の影響を受けにくいことから、冬期間の安定した交通の確保に繋がるほか、災害時の緊急輸送道路としての役割も期待されます



中部縦貫自動車道

- 福井→岐阜・高山→長野・松本に至る高速道路（平成元年８月～）
- 名神高速や北陸自動車道において、大雨や大雪等による通行止めが発生した際に、代替路・迂回路としての機能発揮に期待
- 令和５年、大野IC～九頭竜ICが順次開通
- 令和１１年春(予定)の県内区間全線開通に向けて現在整備中
- 整備効果

	整備前		整備後
大野→名古屋	2:30	20分短縮 ⇒	2:10

舞鶴若狭自動車道

- 福井県の西の玄関口
- 平成26年７月に暫定２車線で全線開通
- 平成31年４月以降、優先整備区間の４車線化が順次事業化（舞鶴東IC～小浜IC）
- 舞鶴東IC～小浜西ICの４車線化工事を現在整備中
- 整備効果

	一般道利用		舞若道利用
敦賀→舞鶴	1:50	40分短縮 ⇒	1:10

E27　舞鶴若狭自動車道

管理主体：吉川JCT～小浜IC　NEXCO西日本
　　小浜IC～敦賀JCT　NEXCO中日本
延長：　162ｋｍ（県内70.7km）

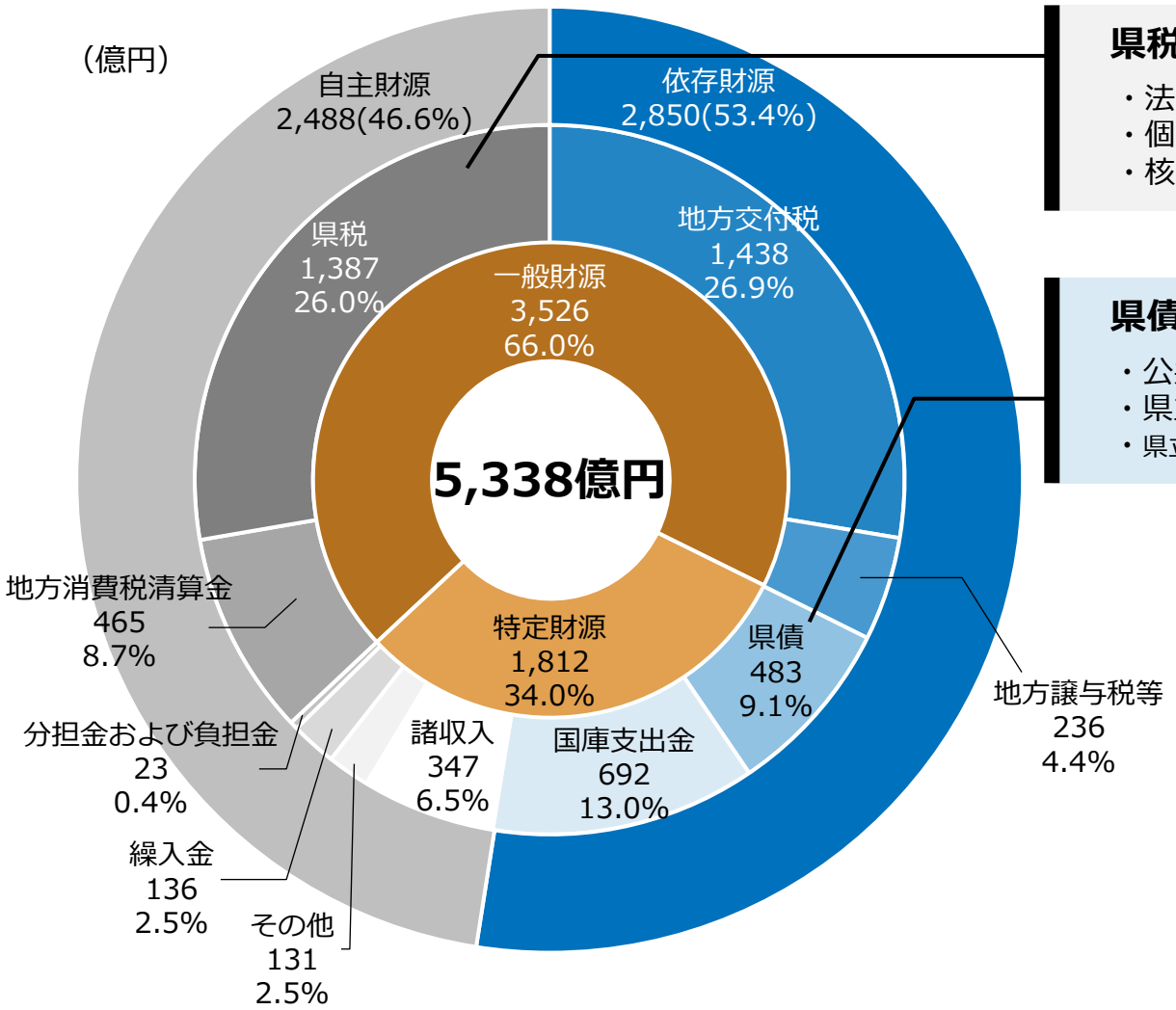
E67　中部縦貫自動車道

管理主体：　国土交通省
延長：　160ｋｍ（県内62.3km）
現在の供用延長：　78.1km（県内46.8km）

３　福井県の財政運営

（1）令和８年度福井県６月現計予算（一般会計）歳入

■ 一般会計予算総額は、5,338億円で対前年比6.4%増



県税の主なもの （）内は昨年度比

・法人二税	391億円（△29億円）
・個人県民税	349億円（＋13億円）
・核燃料税	142億円（△　9億円）

県債の主なもの （）内は昨年度比

・公共	334億円（＋ 4億円）
・県立学校空調整備	25億円（＋22億円）
・県立大学地域政策学部整備	15億円（＋14億円）

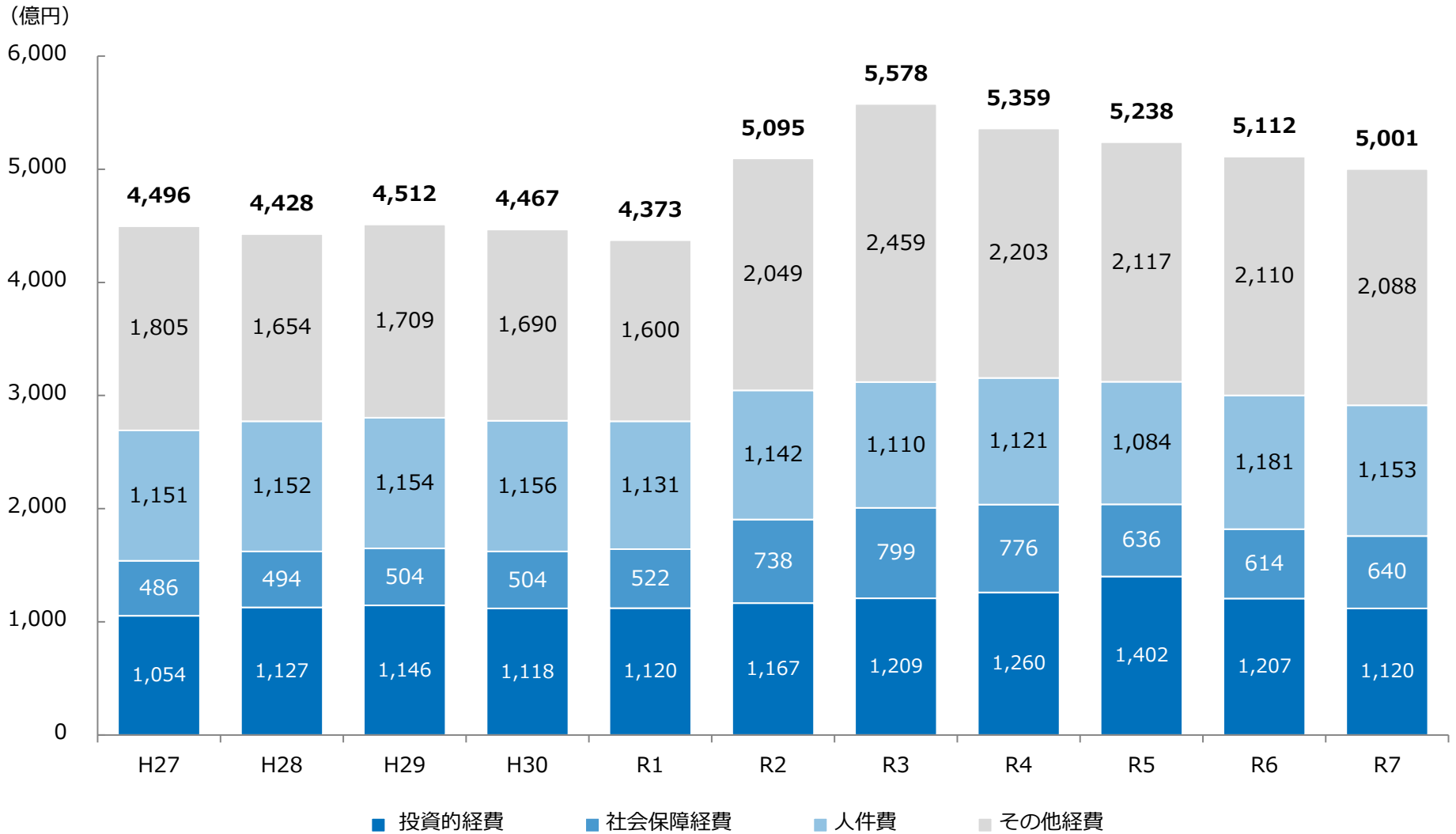
参考/原子力発電関係歳入

計391億円（歳入の7.3%）

・法人二税等	118億円
・核燃料税	142億円
・電源三法交付金	114億円
・寄附金（関西電力）	17億円

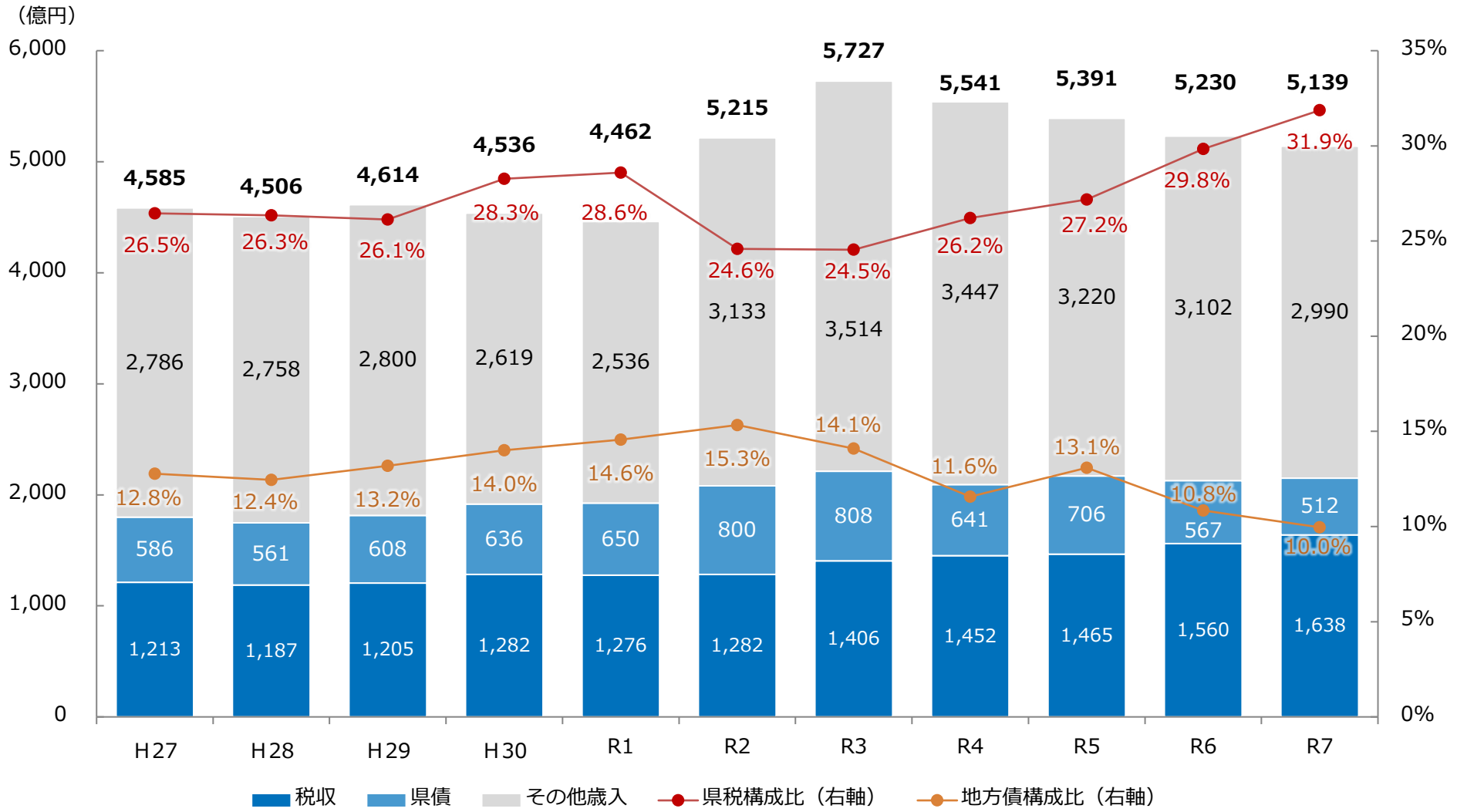
（2）福井県普通会計歳出決算の推移

■ 県立学校再編施設設備整備事業等の事業進捗により、「投資的経費」が減少



（3）福井県普通会計歳入決算の推移

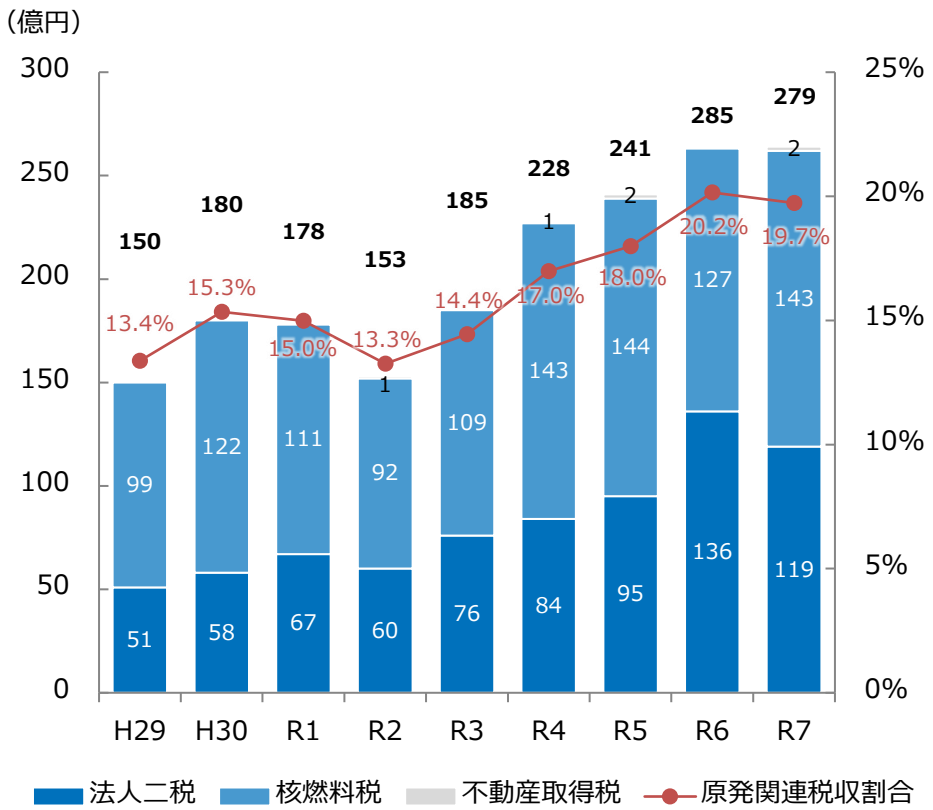
- 新型コロナウイルス感染症対策関連事業の減少などにより「その他歳入」は減少
- 「県税」は1,638億円となり過去最高



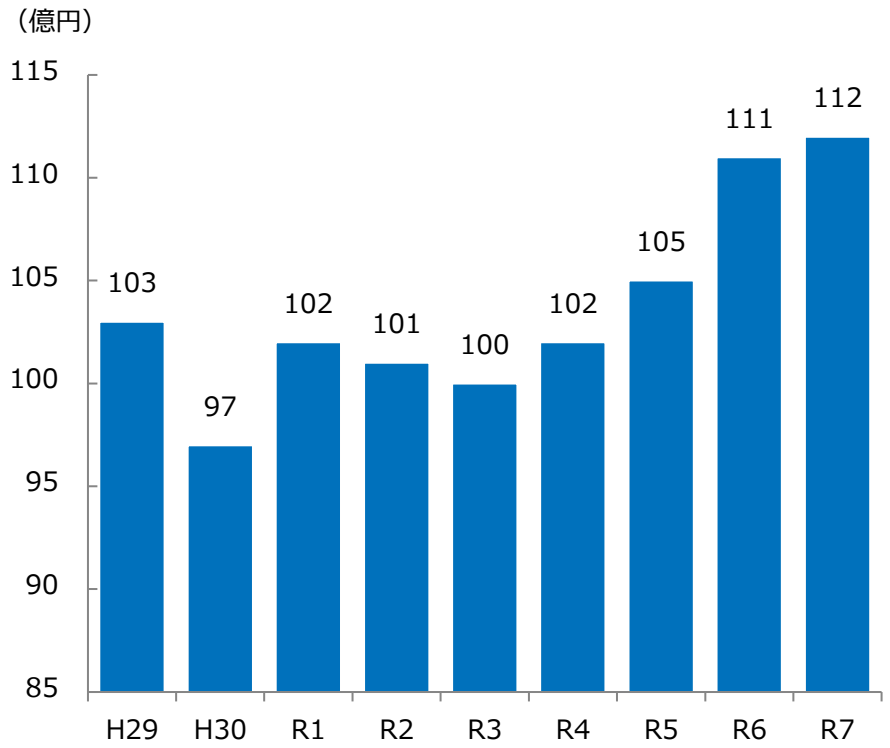
（4）原子力発電関連税収等の推移

- 東日本大震災の影響に伴う原子力発電所停止以降も安定的に推移
- 県税のうち、原発関連税収が約２割弱を占める
- 核燃料税については、令和８年１１月からの税率引上げにより、計画額税収は増額予定

福井県の原発関連税収額



電源三法交付金の交付額



※　原発関連税収割合とは、県税のうち原発関連税収の占める割合
※　計画額税収とは、すべての原子力発電所が稼働した場合の税収

（5）原子力発電に関する福井県の現状（令和８年１０月１日現在）

- 現在、美浜３号機、高浜１～４号機、大飯３・４号機の７基が、新規制基準に適合し再稼働済
- 敦賀２号機は、原子炉設置変更許可の再申請に向け、地質調査実施中



関西電力㈱
美浜発電所

1号機	340千kW	廃止措置中
2号機	500千kW	廃止措置中
3号機	826千kW	再稼働



関西電力㈱
高浜発電所

1号機	826千kW	再稼働
2号機	826千kW	再稼働
3号機	870千kW	再稼働
4号機	870千kW	再稼働



関西電力㈱
大飯発電所

1号機	1,175千kW	廃止措置中
2号機	1,175千kW	廃止措置中
3号機	1,180千kW	再稼働
4号機	1,180千kW	再稼働



国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
新型転換炉原型炉
ふげん

ふげん	165千kW	廃止措置中



国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
高速増殖原型炉
もんじゅ

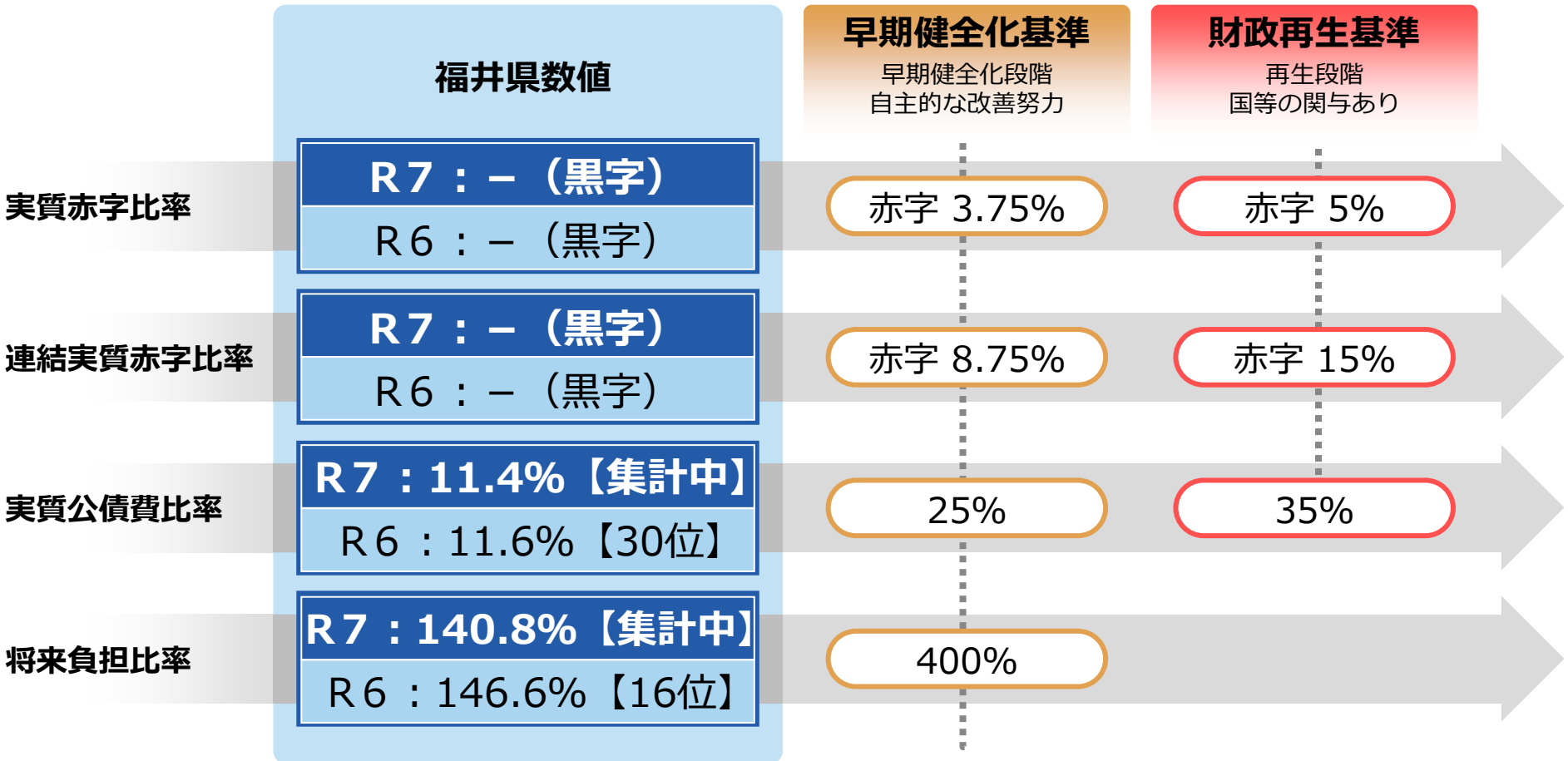
もんじゅ	280千kW	廃止措置中



日本原子力発電㈱
敦賀発電所

1号機	357千kW	廃止措置中
2号機	1,160千kW	停止中

（6） 財政健全化法における財政指標

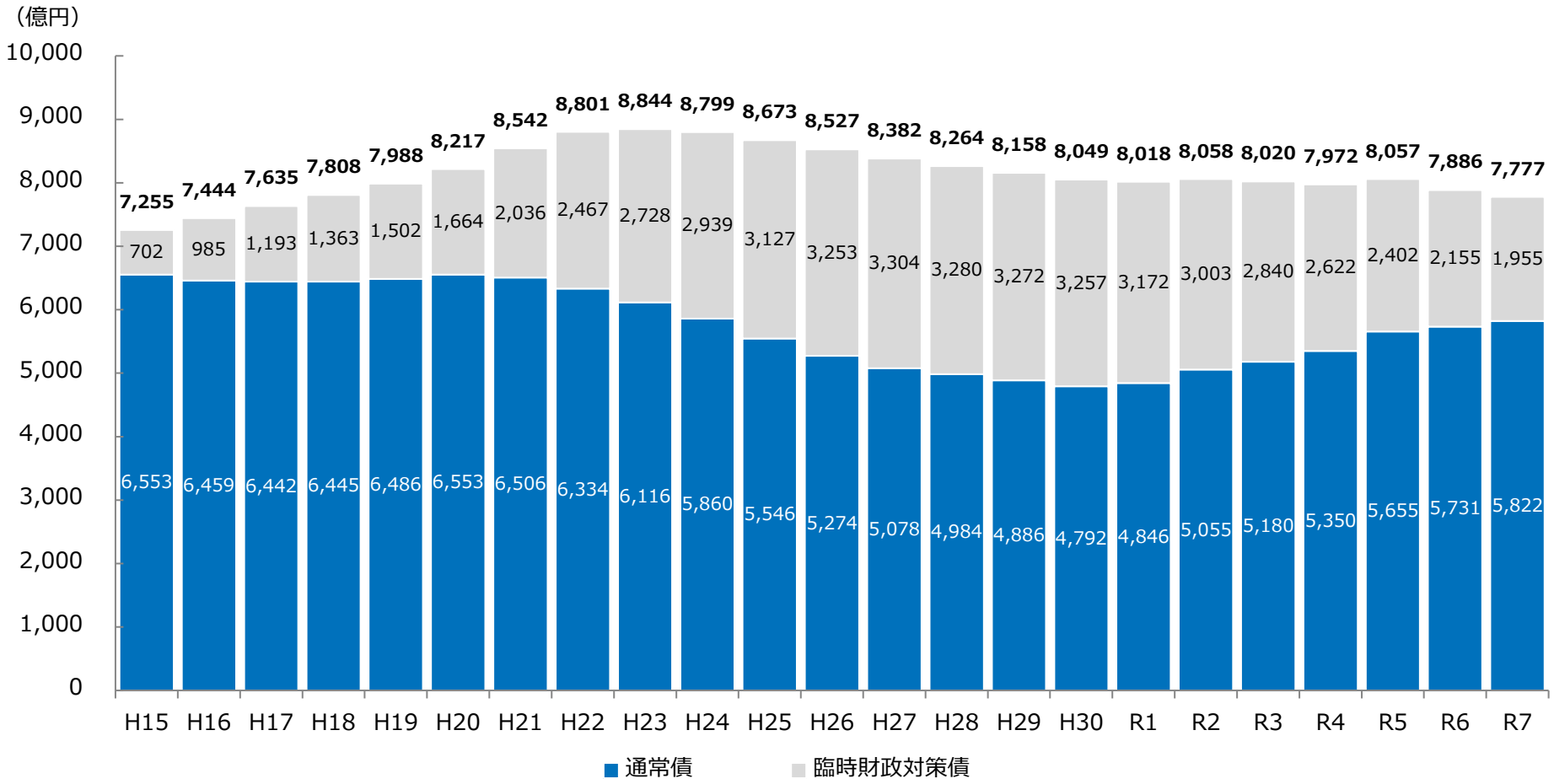


※　R7は速報値、【　】内は全国順位
※　いずれの指標も核燃料税を含めずに算定している

資金不足比率　資金不足なし　（病院事業会計、臨海工業用地等造成事業会計、工業用水道事業会計、水道用水供給事業会計、臨海下水道事業会計、流域下水道事業会計、県営産業団地整備事業特別会計、港湾整備事業特別会計）

（7） 地方債残高の状況

- 令和７年度の県債残高は5,822億円、7年連続の増
- 北陸新幹線の建設や中部縦貫自動車道の整備など、投資的経費の負担により臨時財政対策債を除く県債残高は増加傾向にあるが、引き続き全国中位程度を目途に健全財政を堅持していく

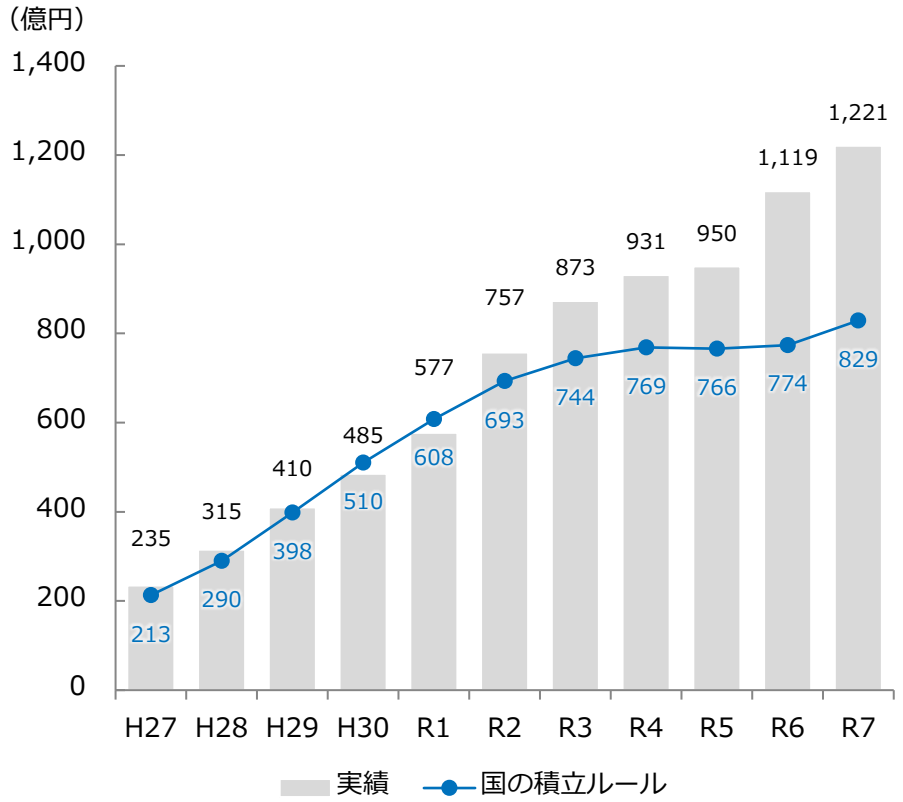


※　臨時財政対策債：地方全体の財源不足を補うために発行される起債。後年度、償還金相当額の全額について交付税措置
※　満期一括償還地方債の減債基金積立額は地方債残高より控除

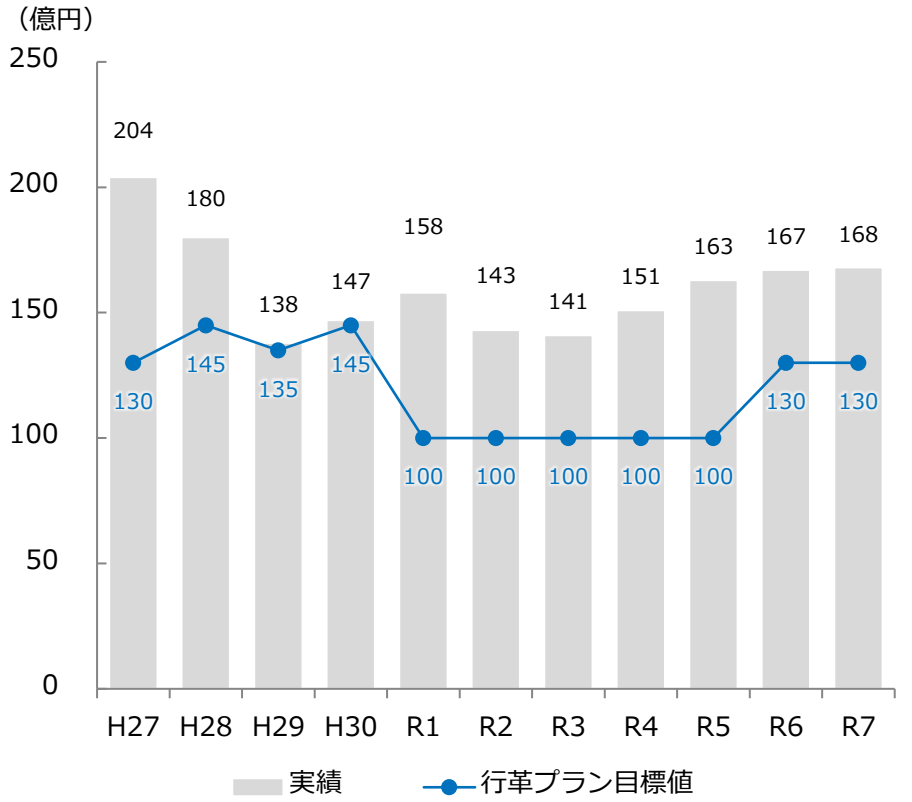
（8） 減債基金・財政調整基金等の状況

- 地方債の満期一括償還に備え、国の積立ルールを上回る減債基金の積み立てを行っている
- 財政調整3基金は行革プラン目標を上回って積み立てており、引き続き基金残高の確保に努める

減債基金への積立状況



財政調整基金等の残高



※ 国の積立ルールに基づき、発行額の1/30ずつを発行の翌年度から積み立てるものとして計算したもの
※ 財政調整3基金とは、財政調整基金、県債管理基金(満期一括償還債の積立額は除く)、地域振興基金をいい、いずれも年度間の財源調整が可能な基金
※ 行革プランとは、H27までは第3次行財政改革実行プラン、H28～H30は第4次行財政改革実行プラン、R1～R5は行財政改革アクションプラン、R6は行財政改革アクションプラン2024を指す

(9) 企業会計の状況

■ 企業会計等において資金不足は生じていない

（百万円）

収益的収支	令和6年度				令和7年度				増減			
	収入	支出	差引	資金剰余額	収入	支出	差引	資金剰余額	収入	支出	差引	資金剰余額
病院	26,366	27,512	△ 1,146	8,228	28,152	28,754	△ 602	7,004	6.8%	4.5%	△47.5%	△14.9%
工業用地等造成	423	348	75	9,093	15	0	15	9,235	△96.5%	△100.0%	△80.0%	1.6%
工業用水道	755	592	163	3,404	778	598	180	3,710	3.0%	1.0%	10.4%	9.0%
水道用水供給	3,141	2,829	312	11,530	3,181	2,867	314	11,332	1.3%	1.3%	0.6%	△1.7%
臨海下水道	1,149	1,075	74	2,040	1,109	1,075	34	2,279	△3.5%	0.0%	△54.1%	11.7%
流域下水道	2,474	2,590	△ 116	793	2,518	2,612	△ 94	736	1.8%	0.8%	△19.0%	△7.2%
産業団地整備	168	168	0	–	2,644	2,644	0	–	皆増	皆増	–	–
港湾整備	3,357	3,353	4	–	3,772	3,776	△4	–	12.4%	12.6%	±0.0%	–

４　地方公会計に基づく財務諸表の状況

（1）統一的な基準による地方公会計（一般会計等決算）

■ 総務省が示した統一的な基準による公会計を平成28年度より作成・公表

※ 百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合がある。

貸借対照表

（百万円）

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	**1,568,427**	**固定負債**	**958,277**
事業用資産	229,506	地方債	857,964
インフラ資産	1,100,395	その他	100,313
その他	238,526	**流動負債**	**68,149**
流動資産	**38,604**	地方債	52,047
現金預金	14,441	その他	16,103
基金	20,622	**負債の部合計**	**1,026,427**
その他	3,541	**純資産の部合計**	**580,604**
資産の部合計	**1,607,031**	**負債及び純資産の部合計**	**1,607,031**

固定資産：事業のために所有している資産等
- 事業用資産：学校・博物館等、県民生活に関する資産
- インフラ資産：道路等の社会基盤となる資産

流動資産：１年以内に現金化しうる資産
- 現金預金
- 基金：基金残高のうち、予期しない支出に備えるため積立てているもの

固定負債：流動負債以外の負債
- 地方債：令和８年度以降に返済する地方債

流動負債：１年以内に支払うべき負債
- 地方債：令和７年度に返済する地方債

純資産：資産の総額から負債額を差し引いた正味の財産

行政コスト計算書

（百万円）

科目	金額	科目	金額
経常費用	**425,125**	**臨時損失**	**45,201**
人件費	118,334	災害復旧費	5,840
物件費等	128,951	投資損失引当金繰入額	26
移転費用	171,589	損失補償等引当金繰入額	-
その他	6,251	その他	39,335
経常収益	**12,769**	**臨時利益**	**9**
使用料及び手数料	5,206	資産売却益	1
その他	7,563	その他	8
純経常行政コスト（経常収支）	**412,357**	**純行政コスト**	**457,549**

経常費用：日常の行政サービスにかかるコスト
- 人件費：職員給与費等
- 物件費等：施設運営費や維持補修等（減価償却費含む）
- 移転費用：扶助費（生活保護費等）や他団体等への補助費等

経常収益：日常の行政サービス実施の財源となる収益
- 使用料及び手数料：施設の使用料や旅券発給手数料等

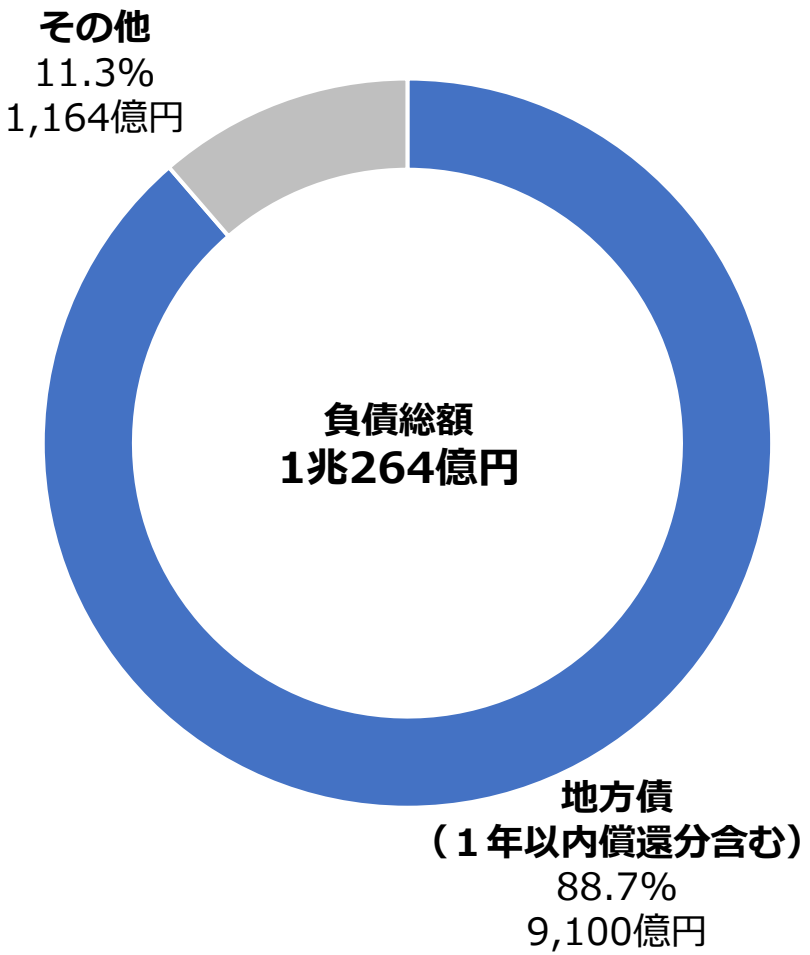
臨時損失：災害等により臨時に発生するコスト
- 災害復旧費：災害発生時の復旧にかかる費用
- 投資損失引当金繰入額：出資法人等に対する出資が回収不能となるリスクへの備えとしての引当
- 損失補償引当金繰入額：第三セクター等への損失補償のうち将来負担が見込まれる額を引当

[臨時利益]
- 資産売却益：資産を売却したことに伴う収益

（2）貸借対照表（一般会計等）

- 負債の約９割は、道路や学校などの公共施設等を整備するための借入である地方債が占めます
- 県民１人あたり、2,163千円の資産がある一方で、1,382千円の負債があります

貸借対照表（一般会計等）負債の構成



有形固定資産減価償却率

（単位：百万円）

	取得価格	減価償却累計額	有形固定資産減価償却率
建物	350,060	230,275	**65.8%**
事業用	287,839	181,959	**63.2%**
インフラ	62,221	48,316	**77.7%**
工作物	2,825,986	1,932,456	**68.4%**
事業用	18,737	14,045	**75.0%**
インフラ	2,807,249	1,918,411	**68.3%**
合計	3,176,046	2,162,731	**68.1%**

県民１人あたり資産・負債等

資産 2,163千円 （昨年度比△64千円）	**負債** 1,382千円 （昨年度比＋6千円）
	純資産 782千円 （昨年度比△69千円）

※　Ｒ７年３月末住民基本台帳人口により算出

５　行財政改革の実施

（1） 行財政改革アクションプラン2024

推進期間

- 令和６年度～令和10年度（５年間）

アクションプランのポイント

施策方針(１) **官民がつながり、 チームふくいを実現する県庁**	方針１ クレドを推進し、官民共創で地域課題を解決 方針２ 市町協働を深化し、地域の未来づくりをバックアップ 方針３ 便利でやさしいDXを推進し、県民とのつながりを創出
施策方針(２) **多様な人材が集まり、育ち、 躍動する県庁**	方針４ 多様な人材が最大限の力を発揮し、誇りとやりがいを持って働く職場づくり 方針５ 主体的に成長し、自らキャリアを創造できる人材を育成 方針６ 場所や時間、既成概念にとらわれない次世代の働き方改革を徹底実行
施策方針(３) **連帯感、効率性、生産性を高め、 チャレンジが生まれる県庁**	方針７ 事務事業の見直しと、デジタル前提の業務改善を徹底 方針８ 連帯感を生みだし、効率性と生産性を高める組織運営 方針９ 健全財政の堅持

（2） 行財政改革アクションプラン2024における健全財政の堅持

歳入の確保

- 財政負担の平準化と安定確保（グリーンボンド発行拡大等）
- 県税・税外収入金の確保、ふるさと納税拡大、宝くじの販売促進

歳出の合理化

- 重要プロジェクト対応、ふるさと融資や収益納付型補助による民間応援
- 政策トライアル枠予算による迅速な課題解決、地域の景観対応枠の創設

県有施設マネジメントの推進

- 計画的な施設の修繕、保有量適正化の検討、未利用資産の貸付・売却
- 県有施設を活用した広告掲出、ネーミングライツ、公共施設の脱炭素化

中期的な見通しに基づく財政運営

- 今後10年の財政収支見通しを毎年策定、 わかりやすい財政状況の公表
- 財政指標の目標設定（財政調整のための３基金残高、臨時財政対策債を除く県債残高、財政健全化指標）

６　福井県の目指す姿

（1）新たな政策方針

目指す姿

世界があこがれる福井



福井県知事
石田　嵩人

グローバルに展開し、国内外で福井の存在感を向上させるとともに、県民自身が世界に誇れる福井を実感するよう、故郷（ローカル）の価値を高めていく
⇒「グローバル」と「ローカル」の両輪で推進

県政の運営方針

- 全世代リスペクト
- 徹底した県民目線
- 発信改革

政策の強化軸

躍動福井のファーストステップ

「躍動する福井」の推進により持続的な発展を図り、「世界があこがれる福井」を実現

「３つのＳ」

～スケール・スピード・サステナビリティ～

長期ビジョンおよび実行プランを継承しながら、「３つのＳ」に沿って取組みを強化

（1）新たな政策方針

スケール Scale

世界とのつながりを成長の原動力に、世界の中の福井へ

■世界に直結する福井ブランドの確立

・知事によるトップセールス
・世界にアピールする新ブランド戦略
・インバウンド＋販路開拓＋情報発信を一体化した戦略的海外展開　など

■世界を知り、活躍する人材の育成

・世界を知り、福井で活躍する人材の育成
・国際教育の充実
・ＡＩ人材の育成　など

スピード Speed

時代の変化をつかみ、未来をさきがける福井へ

■社会環境の変化に、先手で動く福井へ

・地方発ＡＸ
・新経済プランの策定・推進
・農林水産業、建設業等のスマート化
・ＧＸの推進　など

■現場の機動力を活かす「オールふくい」

・市町協働、官民共創の推進
・部局横断の「掛け算プロジェクト」
・情報発信強化（効果的なＳＮＳの活用、プッシュ型）　など

サステナビリティ Sustainability

未来への投資が新しい価値を生み、次世代へつなぐ福井

■人口減少を見据え、社会をリ・デザイン

・行政サービスの効率化・最適化
・安心安全な暮らしを支える基盤の強化（防災、交通、医療・福祉　等）
・福井のさらなる魅力向上（福井アリーナ整備　等）
・嶺南地域の振興　など

■ＳＷＧｓ（人と社会の持続的な幸福）の実現

※サステナブル・ウェルビーイング・ゴールズ

・子育て支援・教育の充実
・障がい者・高齢者支援
・若者躍動、ミドル・シニアの応援
・関係人口の創出・拡大　など

（2）令和８年度重点施策

未来を切り拓く経済戦略と海外展開の推進

福井アリーナ（仮称）整備支援

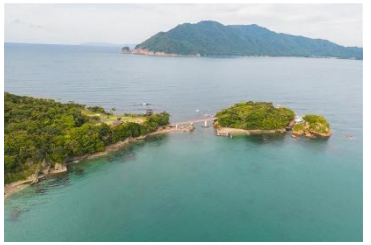
- 経済界が中心となって進める福井アリーナ（仮称）整備について、国の交付金を活用し福井市とともに支援
- 多くの人を呼び込み県内各地を周遊してもらうことで、地域経済の好循環と持続的なにぎわいを創出



福井アリーナ（仮称）
整備イメージ

嶺南エリアへの新たな観光投資

- 嶺南地域に高級リゾートホテル等を誘致する若狭湾プレミアムリゾート構想を推進
- 若狭湾サイクリングルートの整備を推進し、サイクリストやファミリー層を誘客



リゾート候補地の例
（おおい町）

さらなる誘客促進

- 宿泊旅行を促進するため、お得に旅行ができるキャンペーンを実施
- 上質かつ魅力的なホテルを誘致するため国外や他県でホテルチェーンを展開する事業者の県内進出に対し施設整備等を支援する補助制度を新設



ホテルイメージ
（参考：リゾナーレ福井）

成長産業の創出

- ＡＩに関心のある経営者を集めたコンソーシアムを創設し、県内企業のＡＸを推進
- ＡＩデータセンター整備に対する補助制度を新設
- 嶺南地域に進出する企業に対する支援を拡充



AX意見交換会（イメージ）

海外展開の強化

- 知事のトップセールスによるPRやマスメディアとタイアップした国内外への魅力発信
- 在日外国商工会議所等と連携した外国企業との商談機会の創出や県内企業の輸出拡大を支援



知事のトップセールス（イメージ）

スマート農業を加速

- 稼げる農林水産業を展開するため、ほ場の大区画化などの基盤を整備
- 作業の効率化、省力化につながるスマート技術導入を支援し、農林水産物のブランド化やPRを強化



ドローンを用いた農薬散布

（2）令和８年度重点施策

全世代が安心して生き生きと暮らせる福井の実現

県立大学地域政策学部の開設

- 地域のリーダー的人材を育成するため福井県立大学に地域政策学部を開設
- 学生がまちづくりに積極的に関わることを目指し、福井駅前のビル内にまちなかキャンパスを新設



キャンパス1階部分（イメージ）

県内大学等への進学支援

- 県内高校から県内大学等へ進学する子を持つ２人扶養世帯およびひとり親世帯に対し、世帯年収に応じて大学等の授業料を支援（令和９年度～）

世帯年収目安	～300万円	300万円～380万円	380万円～
授業料支援割合（国制度を含む）	全額	5／6	半額

こどもの居場所を充実

- 放課後児童クラブ等の環境を改善するため市町対象の交付金を創設
- 校内サポートルーム支援員の配置を拡充し、児童生徒へのきめ細かな対応を強化



放課後児童クラブ（イメージ）

安心の子育て環境整備

- ひとり親家庭等が身近に相談でき安心して生活できる環境を整備
- 医療的ケアが必要な障がい児者とその家族が、地域で安心して生活できるよう、事業者等における受入れを促進



相談支援（イメージ）

医療・介護体制の強化

- 基幹病院における心疾患など急性期疾患への対応力を強化し、嶺南地域の医療完結率を向上
- 訪問介護および訪問看護サービス提供体制を強化するとともに、介護従事者の安全確保と負担軽減を実施



訪問介護（イメージ）

安全な暮らしを守る

- クマによる人身被害防止のため、専門員の配置やICT活用を進めるとともに、市町が実施する緊急銃猟等を支援
- 交通事故死者の多い高齢者や横断歩道の歩行者の安全対策等を推進し、交通事故を防止



緊急銃猟の実施

7　福井県とSDGsの関わり

（1）福井県のSDGsの取組み

福井県SDGsパートナーシップ会議を令和２年８月に創設

長期ビジョンに掲げたSDGsの理念に沿って持続可能な地域づくりを推進する官民連携プラットフォーム

【活動コンセプト】 **未来のために。～次の世代に選ばれる福井へ～**

・約1,400の機関（企業、団体、教育機関、自治体など）が参画

・フォーラム（年１回）や交流会を開催、SNSを活用した情報発信

■ SDGsフォーラム2025の開催（令和7年度）

１部：講演会（講師：福井県出身美術家 長坂真護氏）

２部：SDGsパートナー企業・団体の取組紹介・交流会

▶ 企業や団体等におけるSDG s 実践の連携のきっかけづくり



■ 県民からの公募によりオリジナルロゴマークを作成

・令和２年度　デザイン公募　（応募総数 467件）

・令和３年度　愛称公募　（応募総数 1,152件）

・パートナーが名刺やHPに掲載、ロゴマークを活用した商品を開発・販売

ふくい SDGs　愛称: ジュナナ

■ SDGs未来都市への選定　（令和３年５月）

【テーマ】 **「次世代に選ばれる『しあわせ先進モデルふくい』の実現」**

「福井の未来を担う次世代の育成」を取り組みの中心に位置づけ、官民一体となって人材育成

（1）福井県のSDGsの取組み

- **県民×企業×行政の協働推進体制を強化**
  - ・令和５年度　SDGsディレクターとSDGsコーディネーター（３名）を配置
  - ・企業や団体を訪問し、課題発掘や解決に向けた具体的な連携の提案・サポート等を実施



トヨシマセンイの残反を活用し、
ジャパンポリマークがリペアパッチを開発

- **教育機関とSDGsパートナーの連携を促進**
  - ・令和３年度　学校との連携に積極的なパートナーのリストを作成し、HPで公開
  - ・パートナー登録企業等が持つ技術やノウハウ、ネットワークを活かして、環境面の課題である「地球温暖化対策」をテーマに子どもたちが楽しみながら学ぶことができるボードゲームを作成し、出前授業を実施







- **ふるさと納税を活用し、SDGsパートナーの活動を応援**
  - ・パートナーのSDGs関連商品、活動の背景・目的を紹介し、県内のSDGs活動を全国に発信



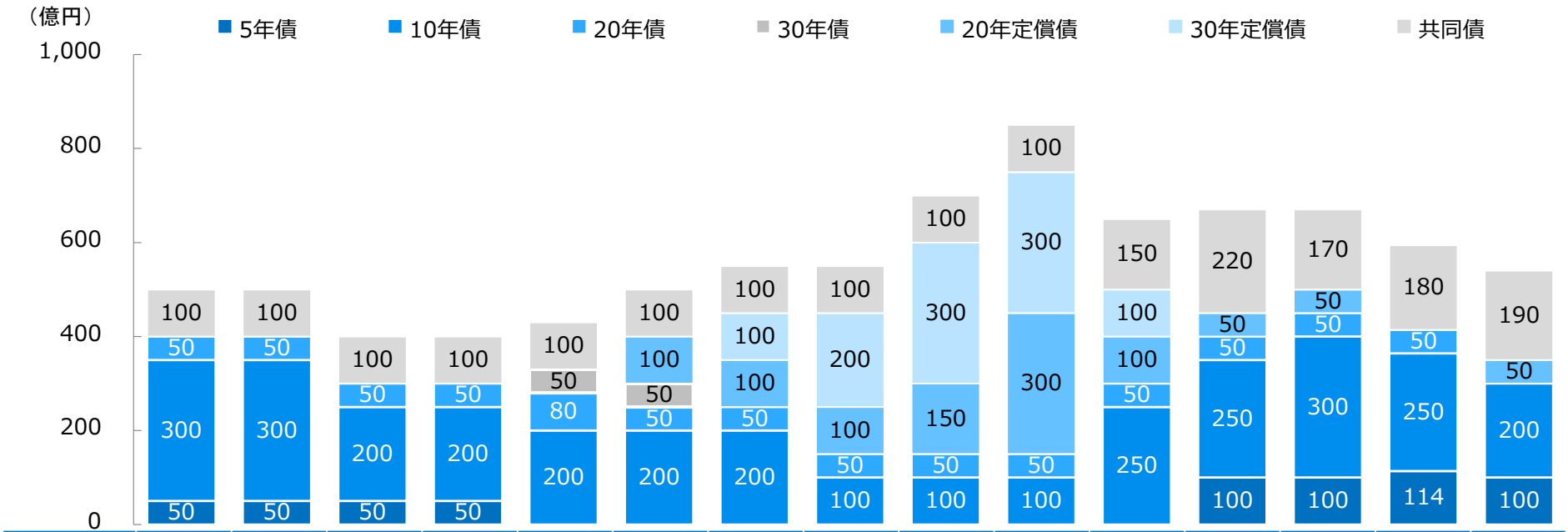
県産間伐材を使用した若狭塗箸

８　福井県債のご紹介

（1）市場公募債の発行状況

■ 令和8年度は個別債と共同債を合わせて540億円を発行予定

市場公募債年限別発行額の推移



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
5年債	50	50	50	50								100	100	114	100
10年債	300	300	200	200	200	200	200	100	100	100	250	250	300	250	200
20年債	50	50	50	50	80	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
30年債					50	50									
20年定償債						100	100	100	150	300	100	50	50		50
30年定償債							100	200	300	300	100				
共同債	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	150	220	170	180	190
合計	500	500	400	400	430	500	550	550	700	850	650	670	670	594	540

※　平成21年度から市場公募債を発行
※　発行額は借換債含みの額

（2）令和８年度の市場公募債発行予定

- フレックス枠を活用して複数年限の発行（主幹事方式）
  令和８年度は、７月に５年満期一括債・10年満期一括債および20年定時償還債を発行
- ９月に10年満期一括債を発行（シ団プレマ方式）
- 福井県として４年目となるグリーンボンドを10月に発行
- 本年度４年目を迎えるグリーン共同債にも引き続き参加

（億円）

		令和８年									令和９年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
個別債	10年債						100							100
	フレックス				200 (※)			50 【グリーンボンド】						250
共同債	共同債	80					40							120
	グリーン共同債						50						20	70

※　７月に「５年満期一括債：50億円、10年満期一括債：100億円、20年定時償還債：50億円」を発行

（3）福井県グリーンボンド発行概要

令和7年度に引き続きグリーンボンドを発行

- 本県では、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入などを進めるとともに、気候変動への適応策を推進。これらの施策を推進するための資金調達として、グリーンボンドを発行

発行概要		
	令和７年度	令和８年度
名称	福井県令和７年度第６回公募公債 （グリーンボンド）	福井県令和８年度第５回公募公債 （グリーンボンド）
発行額	50億円	50億円
発行日	令和７年10月30日	令和８年10月29日
償還日	令和12年10月30日	令和13年10月29日
利率	1.286%	2.448%
発行価格	額面100円につき100円	額面100円につき100円
期間	５年（満期一括償還）	５年（満期一括償還）
主幹事	SMBC日興証券（事務）、野村證券、 三菱UFJモルガン・スタンレー証券	野村證券（事務）SMBC日興証券、大和証券
適合性評価	第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版への適合性について、評価を取得	

（3）福井県グリーンボンド発行概要

- 令和８年度のグリーンボンドでは、49件の投資表明をいただき、多くの投資家から福井県の取り組みに賛同・共感を得ました

令和８年度グリーンボンド投資表明投資家　49件（内、県内投資家42件）

県内投資家				県外投資家	
No.	投資家名	No.	投資家名	No.	投資家名
1	芦原温泉上水道財産区水道事業	25	合同会社 ＦＵＮ　ＤＩＮＩＮＧ	1	株式会社 鹿児島銀行
2	岩崎工業 株式会社	26	株式会社 福井銀行	2	学校法人 国際ビジネス学院金沢
3	学校法人 栄光学園	27	福井県医師信用組合	3	株式会社 徳島大正銀行
4	株式会社 オーイング	28	公益社団法人 福井県看護協会	4	日本コープ共済生活協同組合連合会
5	株式会社 大西印刷	29	一般社団法人 福井県自動車会議所	5	根上工業 株式会社
6	有限会社 岡本	30	株式会社 福井新聞社	6	株式会社 東日本銀行
7	医療法人 音羽会	31	福井信用金庫	7	株式会社 みなと銀行
8	社会福祉法人 かすみが丘学園	32	福井鋲螺 株式会社	8	
9	社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会	33	福井埠頭 株式会社	9	
10	カラヤ 株式会社	34	株式会社 北陸環境科学研究所		
11	株式会社 カワグチ	35	株式会社 マダックス		
12	共同コンピュータ 株式会社	36	南越前町		
13	有限会社 幸伸食品	37	株式会社 山岡保温工業所		
14	税理士法人 合同経営会計事務所	38	山惣工業 株式会社		
15	学校法人 国際ビジネス学院	39	吉岡幸 株式会社		
16	有限会社 小林電設工業	40	株式会社 吉田機工		
17	株式会社 こんどう	41	医療法人 嶺南こころの病院		
18	坂井北部土地改良区	42	株式会社 六大陸		
19	株式会社 鯖江工業所	43			
20	サンキ 株式会社	44			
21	株式会社 関組	45			
22	公立大学法人 敦賀市立看護大学	46			
23	轟建設 株式会社	47			
24	株式会社 西村組	48			

（五十音順）

（4）福井県グリーンボンド充当予定事業

北陸新幹線の整備



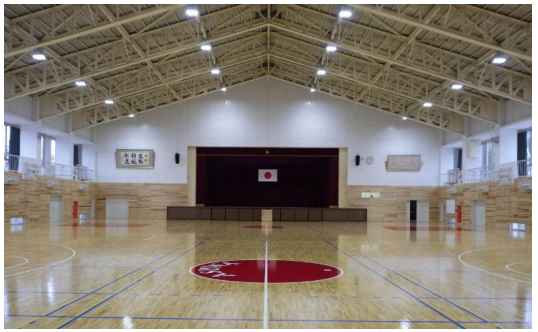
事業区分	クリーン輸送
想定される環境改善効果	温室効果ガスの排出量 削減

林道の整備



事業区分	生物自然資源及び 土地利用に係る環境持続型管理
想定される環境改善効果	森林の多面的な機能の維持・増進

公共施設等の省エネ化



事業区分	エネルギー効率
想定される環境改善効果	温室効果ガスの排出量削減

河川の整備



事業区分	気候変動への適応
想定される環境改善効果	自然災害リスクに対する防災機能の強化

（5）令和７年度グリーンボンドの資金充当状況・環境改善効果

■ 北陸新幹線の整備、足羽川ダムの整備及び災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備を中心に資金を充当

ICMA原則上の事業区分	充当事業	充当額（百万円） （充当割合）	効果／実施事業内容
クリーン輸送	■ 北陸新幹線の整備 （北陸新幹線負担金）	223（4.5%）	■ 59,000t-CO2/年*
エネルギー効率	■ 新築建物のZEB化	301（6.0%）	■ エネルギー削減量：725,111kWh/年 ■ ZEB Ready適合 BEI値：0.47、エネルギー削減率：53% ■ 温室効果ガス削減量：312.5（t-CO2/年）
	■ 照明のLED化 （LED式交通信号灯器移行事業）	283（5.7%）	■ 導入台数：車両灯器　641台 歩行者用灯器　639台 ■ 電力削減量：695,770.9（kWh/年） ■ CO２排出削減量：299.9（t-CO2/年）
	■ 照明のLED化 （県庁舎LED化）	156（3.1%）	■ 導入台数：2,021台 ■ 電力削減量：133,969.8（kWh/年） ■ CO２排出削減量：57.7（t-CO2/年）
生物自然資源及び 土地利用に係る 環境持続型管理	■ 公共施設等の木造化、木質化の推進（県立高等学校寮整備事業）	429（8.6%）	■ 県産木材の使用体積 ・勝山高校寮：148.53㎥
	■ 公共施設等の木造化、木質化の推進（駐在所等整備事業）	121（2.4%）	■ 県産木材の使用体積 ・麻生津交番：13.99㎥ ・森田交番：8.00㎥
気候変動への適応	■ 河川改修、ダムの整備 （足羽川ダム）	1,967（39.3%）	■ ダム本体打設：約69万㎥ ■ 導水トンネル：4,717m ■ 付替県道　　：約6.1km ■ 浸水面積：約77㎢減 ■ 浸水戸数：約32,000戸減 ■ 床上浸水戸数：約19,000戸減
	■ 災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備	1,520（30.4%）	■ 災害時における広域的な迂回路の確保 ■ 整備距離：大野～油坂間35km
合計		5,000（100%）	

※　独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構「北陸新幹線（金沢・敦賀間）事業に関する再評価」を参照

福井県債に関するお問い合わせ先

- 福井県 総務部 財政課
- 住所　〒910-8580　福井県福井市大手3丁目17番１号
- TEL　0776-20-0234
- FAX　0776-20-0629
- Email : zaisei@pref.fukui.lg.jp
- HP : http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/zaisei/zaisei09.html

